

みんなで支える森林づくり北信地域会議（第3回） 概要

- 1 開催日時 平成22年3月15日（月）午前13時30分から15時00分まで
- 2 開催場所 北信合同庁舎 講堂
- 3 出席者 委員7名（川久保委員 欠席）

竹節	義孝	山ノ内町長
高森	壽實夫	北信州森林組合高森副組合長
桑原	重雄	栄村森林組合長
宮崎	正毅	NPO 法人北信州の森林と家をつなぐ会
竹節	高四郎	自然公園指導員
山崎	義雄	瑞穂地区有害対策協議会長
笹岡	洋一	指導林家

傍聴等 一般傍聴者なし、中野市、飯山市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、
栄村、北信州森林組合、栄村森林組合（オブザーバー出席）

4 開 会

- (1) あいさつ 佐藤地方事務所長

5 会議事項

- (1) 長野県森林づくり県民税活用事業の平成21年度実施状況について
- (2) 平成22年度長野県森林づくり県民税活用事業計画について
- (3) 平成22年度林業関係予算について
- (4) 意見交換

(市町村・森林組の担当者もオブザーバー出席し、各事業の進捗状況等について補足説明)

主な意見

川下側から見ると、森林整備は進んでいるが材がでてこない。低質材が多く材が出てこないかもしれないが、このような材も搬出し、利用できるものに活用させていきたい。

小学校、中学校、高校も含め、壁材の木質化は子供たち・生徒たちに非常に良い環境になる。木質化することによって情操教育に大きな効果があると先生たちも認識している。木材を使って子供たちの情操教育に役立てるため、積極的に導入願いたい。

木島平村3小学校の統合に伴い、間伐・搬出・製材・乾燥とそれぞれの行程を生徒たちに体験してもらった。木に関りを持ち、木に触れ合うことにより木の良さを実感してもらうことが必要である。子供たちが木に触れ合う場所を広域的に提供する必要がある。木の良さを子供たちに伝える必要があり、学校のカリキュラムに是非時間をとってもらいたい。

漁協関係者の間では、「魚を守るには水を守る」、「水を守るには木を守る」、「木を守るには森を守る」、「森を守るには山を守る」が合言葉となっている。

混交林が昨今話題となっているが、混交林施業について県民税を是非投入して施業技術を研究し、子孫のため将来を見据えた「新しい森林づくり」、「新しい山づくり」を是非行い未来の森林づくりに力をいれてほしい。

県民税を活用した里山整備が2年間から始まり色々な面から効果が上がっている。間伐された山は成長が早まる。この間伐材の搬出・活用について施策の展開をお願いする。

県民税活用事業は非常に効果がある事業であり平成22年度においても21年度を上回る予算確保をお願いする。

県民税の使われ方をもっと県民に普及するためには、一番目にふれる施設内の木質化である。間伐もさることながら材を使うところから理解をもっと深める必要がある。木育推進事業等更なる推進が必要ではないか。活用事業はストーリー性を持たせ、一般県民がもっと広く参加しPRする事業にも支援し願いたい。



地域会議開催状況